



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 名村造船所

コード番号 7014 URL <http://www.namura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名村 建介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員社長補佐 (氏名) 井関 延行

TEL 06-6543-3561

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,025	△10.2	2,045	△5.0	2,121	△5.2	1,251	698.4
24年3月期第1四半期	31,214	1.4	2,153	△40.7	2,238	△39.3	157	△90.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 771百万円 (△30.0%) 24年3月期第1四半期 1,102百万円 (△15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	25.92	25.76
24年3月期第1四半期	3.25	3.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	155,435	47,943	30.2
24年3月期	162,304	47,643	28.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 46,939百万円 24年3月期 46,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,000	6.9	1,600	△60.8	1,500	△58.1	600	△61.8	12.43
通期	125,000	1.9	6,300	△46.0	6,200	△43.9	2,900	△48.6	60.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	48,386,417 株	24年3月期	48,386,417 株
25年3月期1Q	121,129 株	24年3月期	121,129 株
25年3月期1Q	48,265,288 株	24年3月期1Q	48,265,424 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州信用不安問題に絡む先進国経済の停滞と新興国経済の減速が世界経済の先行き懸念材料となり、超円高を離脱できないことなど日本固有の事象も加わって、総じて国内企業活動が下振れリスクを拭い去れないままに推移しております。

世界の造船業界におきましては、本年1月から3月までの新造船竣工量は28,512千総トン（前年同期比7.8%増）と過去最高を記録した前年を上回る高水準の竣工が続いております。需給ギャップの拡大が続き、船腹過剰による運賃低迷等から老齢船・不採算船のスクラップが進められているものの依然として新造船発注意欲の回復は見られず、受注量は7,929千総トン（前年同期比59.1%減）と前年同期の実績に比べて大幅に減少いたしました。この結果、本年3月末における世界の手持工事量は209,695千総トン（前年同期末比19.6%減）とさらに減少いたしました。中国船舶工業行業協会（CANSSI）によれば、受注残の枯渇により既に同国の中小規模造船所においてはキャッシュ・フローの問題が深刻化しており、また多くの韓国新興造船所では再建の目処を立てられないと報道されているなど、世界的な供給力調整の動きが進みつつあります。

一方、当企業集団は中核事業である新造船事業におきまして質・量両面で相対的に恵まれた手持工事量を確保しております。しかしながら、世界的な供給力調整および新造船発注意欲の回復にはなお時間を要するという見方に立って、価格、品質、性能、サービス、省燃費性能を含め環境対策の改善を核とする総合的な顧客満足度の向上による競争力強化を図るとともに、受注から竣工までのリードタイム短縮を促進し、市場環境の変化に応じて受注活動や操業計画におきまして柔軟に対応し得る体制を構築することにより、所要の手持工事量を確保して行く方針であります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、事業構造改革を進めてきた機械事業におきまして海外向けを中心に収益が大幅に改善したものの、新造船事業におきまして三光汽船株式会社の子会社（リベリア法人）発注の建造契約で発注者の債務不履行発生により収益計上基準を工事進行基準から工事完成基準に変更したことや円高の影響、また修繕船事業における売上高減少などがあったことから、売上高は28,025百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は2,045百万円（前年同期比5.0%減）、経常利益は2,121百万円（前年同期比5.2%減）となりました。当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は投資有価証券評価損が前年同期比で減少したこともあって1,942百万円（前年同期比71.7%増）となり、四半期純利益は1,251百万円（前年同期比698.4%増）となりました。

新造船事業では四半期毎に売上対象となる隻数・船型が異なる上に、資機材価格や為替など多数の変動要因があり計上済みの工事損失引当金額を四半期毎に見直しております。なお、現在の市況では、新造船の新規受注により多額の工事損失引当金額の計上を余儀なくされるものと思われます。また、鉄構陸機事業におきましては工事が第4四半期に集中する傾向にあります。したがって、第1四半期業績と年度業績とは必ずしも連動いたしません。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 新造船事業

当第1四半期連結累計期間におきましては250千重量トン型鉱石運搬船(WOZMAX)1隻、225千重量トン型鉱石運搬船2隻をはじめ、115千重量トン型石油製品運搬船、函館どつく株式会社建造の32千重量トン型撒積運搬船、小型内航船など合計9隻を完工し、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,110百万円(前年同期比6.8%減)となり、損益面につきましては2,458百万円の営業利益(前年同期比16.4%減)となりました。当社が佐賀県伊万里市に進出してから40年目を迎えた本年5月に伊万里事業所にて竣工・引渡をした新造船は1975年3月の第1隻目から数えて300隻目に当たります。今後もさらに顧客ニーズを的確に捉え、顧客から求められる商品としての新造船を提供し続けてまいります。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は287,300百万円(前年同期比29.9%減)であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては売上計上の米ドル額は235百万米ドルであり、その平均レートは1米ドル当たり84円04銭であります。また、当第1四半期連結累計期間売上対象の米ドルのうち為替予約未済の額につきましては、売上計上に際して期末日レートである79円31銭を使用しております。

② 修繕船事業

修繕船事業の中核を担う函館どつく株式会社におきましては、大型艦艇の修繕工事が第2四半期以降になることから当第1四半期連結累計期間の売上高は990百万円(前年同期比65.0%減)となり、損益面につきましては111百万円の営業損失(前年同期100百万円の営業損失)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は1,701百万円(前年同期比75.8%増)であります。

③ 機械事業

機械事業を担うオリイメック株式会社におきましては、国内事業の合理化と海外市場での販売体制の強化や中国生産子会社の増設などグローバル戦略を推し進めておりますが、主たる顧客であります自動車関連業界の海外現地生産拡大に伴う設備投資需要に積極的に対応した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,012百万円(前年同期比48.6%増)、損益面では218百万円の営業利益(前年同期94百万円の営業損失)となり、前年同期比大幅に改善いたしました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は3,346百万円(前年同期比56.5%増)であります。

④ 鉄構陸機事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災関連以外の公共事業費の圧縮が続いた結果202百万円(前年同期比27.8%減)となり、損益面につきましては41百万円の営業損失(前年同期191百万円の営業損失)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は2,720百万円(前年同期比43.2%減)であります。

⑤ その他事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は711百万円(前年同期比20.4%減)となり、損益面につきましては69百万円の営業利益(前年同期比34.5%減)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は1,471百万円(前年同期比3.8%減)であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、主に売掛金が減少したことにより前連結会計年度末比5,980百万円減少し、117,448百万円となりました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、主に保有する投資有価証券の株価が下落したこと等により前連結会計年度末比889百万円減少し、37,987百万円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、主に前受金が減少したことにより前連結会計年度末比6,362百万円減少し、92,271百万円となりました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、主に長期借入金が増加したことにより前連結会計年度末比807百万円減少し、15,221百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末比300百万円増加し、47,943百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はなく、据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,524	45,983
受取手形及び売掛金	24,044	16,395
有価証券	40,043	40,044
商品及び製品	1,427	1,336
仕掛品	4,892	6,072
原材料及び貯蔵品	1,055	1,109
その他	6,443	6,509
流動資産合計	123,428	117,448
固定資産		
有形固定資産	31,946	32,060
無形固定資産		
のれん	309	178
その他	620	592
無形固定資産合計	929	770
投資その他の資産	6,001	5,157
固定資産合計	38,876	37,987
資産合計	162,304	155,435
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,870	22,632
短期借入金	4,525	4,874
未払法人税等	—	280
前受金	63,025	55,715
工事損失引当金	3,402	3,170
その他の引当金	701	646
その他	4,110	4,954
流動負債合計	98,633	92,271
固定負債		
長期借入金	10,455	9,425
退職給付引当金	3,431	3,398
その他の引当金	134	146
その他	2,008	2,252
固定負債合計	16,028	15,221
負債合計	114,661	107,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,083	8,083
資本剰余金	9,616	9,616
利益剰余金	29,061	29,878
自己株式	△43	△43
株主資本合計	46,717	47,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	△561
繰延ヘッジ損益	△10	2
為替換算調整勘定	△121	△36
その他の包括利益累計額合計	△112	△595
新株予約権	88	88
少数株主持分	950	916
純資産合計	47,643	47,943
負債純資産合計	162,304	155,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	31,214	28,025
売上原価	27,274	24,177
売上総利益	3,940	3,848
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	667	681
その他	1,120	1,122
販売費及び一般管理費合計	1,787	1,803
営業利益	2,153	2,045
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	64	47
為替差益	73	101
その他	34	40
営業外収益合計	190	202
営業外費用		
支払利息	91	75
固定資産除売却損	7	43
その他	7	8
営業外費用合計	105	126
経常利益	2,238	2,121
特別損失		
投資有価証券評価損	1,055	179
災害による損失	52	—
特別損失合計	1,107	179
税金等調整前四半期純利益	1,131	1,942
法人税、住民税及び事業税	417	688
法人税等調整額	534	3
法人税等合計	951	691
少数株主損益調整前四半期純利益	180	1,251
少数株主利益	23	0
四半期純利益	157	1,251

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180	1,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	854	△581
繰延ヘッジ損益	31	12
為替換算調整勘定	37	89
その他の包括利益合計	922	△480
四半期包括利益	1,102	771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079	768
少数株主に係る四半期包括利益	23	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	機械	鉄構陸機	その他			
売上高								
外部顧客への売上高	25,861	2,828	1,354	279	892	31,214	—	31,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	24	24	△24	—
計	25,861	2,828	1,354	279	916	31,238	△24	31,214
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,940	△100	△94	△191	106	2,661	△508	2,153

(注) 1 セグメント利益の調整額△508百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△504百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	機械	鉄構陸機	その他			
売上高								
外部顧客への売上高	24,110	990	2,012	202	711	28,025	—	28,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	139	139	△139	—
計	24,110	990	2,012	202	850	28,164	△139	28,025
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,458	△111	218	△41	69	2,593	△548	2,045

(注) 1 セグメント利益の調整額△548百万円には、セグメント間取引消去△18百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△530百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社が三光汽船株式会社の連帯保証付きで同社子会社VEGA BULKSHIP LIMITED (リベリア法人)と平成20年5月21日付で新造船建造契約を締結し当社連結子会社の函館どつく株式会社にて建造している32千重量トン型撒積運搬船1隻につき、発注者殿が契約に基づく中間支払を履行しなかったため、平成24年7月23日付で当該契約を解除いたしました。なお、本船につきましては現在売却先を選定中であります。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
新造船事業	—	△100.0	287,300	△29.9
修繕船事業	2,380	62.4	1,701	75.8
機械事業	2,810	70.8	3,346	56.5
鉄構陸機事業	339	△46.3	2,720	△43.2
その他事業	358	△66.8	1,471	△3.8
合計	5,887	7.6	296,538	△29.3

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記の金額は、工事完成基準で記載しております。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比 (%)
新造船事業	40,538	31.8
修繕船事業	990	△65.0
機械事業	2,012	48.6
鉄構陸機事業	202	△41.3
その他事業	711	△20.4
合計	44,453	22.9

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記の金額は、工事完成基準で記載しております。